



学校図書館だより 3月

令和3年3月10日
荒川区立第三中学校
校長 小柴憲一
学校司書 西岡 薫



3年生のみなさんはもうすぐ卒業、おめでとうございます。三月は、「弥生」とも言い、弥生は、「草木がいよいよ出る」という意味の「いやおひ」が語源といわれています。「いよいよ」の勢いで、新しい場所での活躍を期待しています。中学時代に、心に残る本と出会うことが出来ましたか？そしてあなたのそばにこれからもいつでも本がありますように。

1、2年生は進級の準備の期間。本を読むことで自分を成長させ、新年度に向けパワーアップしていきましょう。

学校図書館からのお知らせ



3月12日（金）～3月18日（木） 蔵書点検期間

三中にある約16,000冊の本のバーコードを一冊一冊読み取り、紛失した本はないか、貸出し返却がきちんと行われているか、正しい場所に本があるかを確認します。皆さんが気持ちよく図書館を使えるための大切な作業です。

この期間は、図書館での貸し出し返却はできませんので、注意してください。昼休み、放課後の利用もありません。

3年生 …3月11日（木）までに返却。

1、2年生 …3月25日（木）修了式までに返却。

1、2年生は、本の最終貸し出しが3月11日（木）となります。

※卒業・進級時に借りたままの本がないようにしましょう。

***春休みの開館、貸し出しはありません。**

数字でみる今年度の学校図書館



今年度（令和2年4月～令和3年3月5日まで）

昼休み、放課後の利用者は、およそ7780人

貸し出し冊数	1年生 1736冊（一人平均 1.1冊）	1位	B組 笹平千晴さん	136冊
	2年生 962冊（一人平均 6冊）	1位	B組 春日葉音さん	259冊
	3年生 548冊（一人平均 4冊）	1位	C組 嶋田雅樹さん	108冊

3月の学校図書館活用授業から



1年理科 身近な不思議 調べてガッテン

3年数学 将来、自分は数学について
どんなことを学ぶのか



1年生理科で学習した範囲から、不思議だなと思うことをテーマにし、調べて、パワーポイントにまとめていきます。



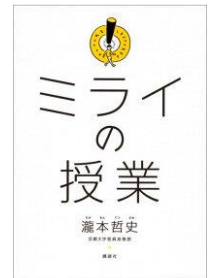
高校で学ぶ数学はどのようなものがあるか、単元キーワードからつながる内容に関して、本とタブレットを用いて調べました。

- 3年生社会科 私たちの住む地域、南千住汐入地区の調べ学習を行いました。
- 2年生総合 校外学習事前学習 東京都内めぐり見学場所の調べ学習を行いました。

～新たなステージへ踏み出す君に、贈りたい一冊～

『ミライの授業』 瀧本哲史 著 講談社

2015年、私は全国の中学校を飛び回った。超難関としてその名を轟かす灘中学校や、福島第一原発事故の影響で避難生活を余儀なくされている福島県飯舘村立飯舘中学校など、さまざまな中学校を訪ねた。目的はひとつ、未来に生きる14歳のきみたちに、特別講義を届けるためだ。学校は、未来と希望の工場である。そしてきみたちは魔法を学んでいる。全国の中学校を訪れて開講した特別講義「未来をつくる5つの法則」を書籍化。これから生きる14歳に、そしてかつて14歳だったすべての人に届けたい一冊。



『続・中学生からの大学講義1 学ぶということ』 筑摩書房



受験突破だけが目標じゃない！学び、考えつづけければ鉄の扉が開くこともある。「どうすれば大学に入れるか」のガイドは世間に溢れている。でも「大学で何を学べるのか」について良質なアドバイスはまだまだ少ない。変化の激しい時代を生きる若い人たちへ、池上彰、岩井克人、斉藤環、内田樹、湯浅誠ら、各界の第一人者が学びの極意を伝える、心に響くメッセージ。学ぶことの楽しさ、気づきを与えてくれる。

『大人はどうして働くの？』 宮本恵理子著 日経BP社

生きることに通じる、働くことの意味のメッセージが、有川浩、池上彰、天野篤ら7人の識者によってちりばめられている。三浦しをんさんの「働くということを通じて、『頑張っても報われないことがある』ということを習う」そして、それは、必ずしもネガティブなこと（世の中の不条理）ではなくて、いい意味での「いい加減さ」を学べるという事、という言葉が響く。生きることの力を与えてくれる一冊。

